

学位（修士）論文等作成にあたる研究指導の方法・内容・計画について

博士前期課程では、学位（修士）論文等の作成にあたって、以下のスケジュールにて研究指導が行われます。

・事前連絡・入学試験時 研究計画の確認

大学院入学試験出願前の事前連絡及び入学試験において、入学後の研究課題、研究内容、研究計画等を指導希望教授により確認する。

・1 年次 4 月 新入生ガイダンスにおいて学位（修士）論文等の提出スケジュールの確認

新入生ガイダンスで研究指導計画や学位（修士）論文等の提出スケジュール等の確認を行う。

「研究テーマ概要報告書」を作成し提出する。

・1 年次 4 月以降 研究指導，授業科目の履修，研究倫理教育の受講

指導教授により研究指導・助言を受けながら、学位（修士）論文等の作成を進める。（1～2 年次指導教員の研究指導科目を履修する）

各自の研究内容に関連する授業科目を履修する。（単位履修規定に則り、必修科目を含め 30 単位以上を修得する）

・2 年次 4 月 在学生ガイダンスにおいて学位（修士）論文等の提出スケジュールの確認

在学生ガイダンスで学位（修士）論文等の提出スケジュールの確認を行う。

「論文・作品・制作等概要報告書」を作成し提出する。

・2 年次 6 月 学位（修士）論文等の研究題目，指導体制の確定

学位（修士）論文等の題目，指導体制を確定させる。

・2 年次 1 月 学位（修士）論文等の提出

提出期限までに学位（修士）論文等を提出する。

・2 年次 2 月 学位（修士）論文等の審査

各専攻で提出された学位（修士）論文等の審査（最終審査及び試験）がなされる。

・2 年次 2 月下旬 修了判定

大学院分科委員会にて修了判定がなされる。

・2 年次 3 月 25 日 学位（修士）授与

※学位（修士）論文等の審査基準は「日本大学大学院芸術学研究科における学位（修士）論文等審査基準」による。

※学位（修士）論文等の最終審査及び試験方法は専攻により異なり、中間審査等を実施する場合がある。

学位（博士）論文作成にあたる研究指導の方法・内容・計画について

博士後期課程では、学位（博士）論文の作成にあたって、以下のスケジュールにて研究指導が行われます。

・事前連絡・入学試験時 研究計画の確認

大学院入学試験出願前の事前連絡及び入学試験において、入学後の研究課題、研究内容、研究計画等を指導希望教授により確認する。

・1年次 4月 新入生ガイダンスにおいて学位（博士）論文等の提出スケジュールの確認

新入生ガイダンスで研究指導計画や学位（博士）論文の提出スケジュール等の確認を行う。

「研究テーマ概要報告書」を作成し提出する。

・1年次 4月以降 研究指導、授業科目の履修、研究倫理教育の受講

指導教授により研究指導・助言を受けながら、学位（博士）論文の作成を進める。（1～2年次指導教員の研究指導科目「芸術研究特別演習」を履修する）

各自の研究内容に関連する授業科目を履修する。（単位履修規定に則り、必修科目を含め10単位以上を修得する）

・2年次 4月 在学生ガイダンスにおいて学位（博士）論文等の提出スケジュールの確認

在学生ガイダンスで学位（博士）論文の提出スケジュールの確認を行う。

「学位論文概要報告書」を作成し提出する。

・2年次 11月～12月 第1次予備試験の実施

学位（博士）論文作成可能な知識、基礎的能力を備えているか見極める。（外国語及び専門知識）

・2年次 12月中旬 3年次生の論文要旨発表・説明を傍聴する

・2年次 3月上旬 第2次予備試験の実施

学位（博士）論文の内容、進行状況等に関し、提出が可能かどうか見極める。（研究中間発表会）

・3年次 4月 在学生ガイダンスにおいて学位（博士）論文等の提出スケジュールの確認

在学生ガイダンスで学位（博士）論文の提出スケジュールの確認を行う。

・3年次 4月以降 研究指導、授業科目の履修

指導教授により研究指導・助言を受けながら、学位（博士）論文等の作成を進める。

・3年次 10月下旬 学位請求論文の提出

提出期限までに学位（博士）論文を提出する。

・3年次 12月中旬 最終試験等（学位請求論文審査・口頭発表）の実施

論文要旨を発表・説明し質疑に応答する・審査委員により最終試験（専門試験）を実施する。

・3年次 2月中旬 学位授与及び修了判定

大学院分科委員会にて学位授与及び修了判定がなされる。

・3年次 3月25日 学位（博士）授与

※学位（博士）論文の審査基準は「日本大学大学院芸術学研究科における学位（博士）論文審査基準」による。